

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金について（概要）

本県に文化・スポーツ合宿を誘致することにより、東日本大震災及び原発事故による風評被害払拭や、交流人口の拡大及び本県の合宿環境のPRを図るため、県内施設を利用して合宿を行う県外の団体に予算の範囲内で福島県合宿誘致・交流促進事業助成金を交付します。

■助成金交付額

下表の区分に基づく助成金額の算定例のとおり、50,000円から300,000円までの助成金の交付が受けられます。

区 分	内容・助成金額		助成上限額
1 交通助成金	合宿団体の所在地から宿泊施設までの距離に応じ下表の金額		200,000円
	合宿団体の所在地から 宿泊施設までの片道距離	助成金	
	100km未満	20,000円	
	100km以上200km未満	30,000円	
	200km以上300km未満	40,000円	
	300km以上	50,000円	
2 宿泊助成金	延べ宿泊者数に1泊当たり1,000円を乗じて得た金額		
3 観光助成加算金	合宿期間中、観光を目的に県内観光施設の利用等を行った場合の入館料等実費		合宿参加実人数に1,000円を乗じた金額又は100,000円のいずれか低い額。

(例1) 宿泊施設までの片道距離が300kmの団体100名が3泊し県内観光施設で1,500円の入館料を支払った場合

(交通助成) 50,000円 + (宿泊助成) 150,000円 + (観光助成加算金) 100,000円 = 300,000円

(例2) 宿泊施設までの片道距離が200kmの団体50名が3泊し県内観光施設で600円の入館料を支払った場合

(交通助成) 40,000円 + (宿泊助成) 150,000円 + (観光助成加算金) 30,000円 = 220,000円

(例3) 宿泊施設までの片道距離が80kmの団体15名が2泊した場合

(交通助成) 20,000円 + (宿泊助成) 30,000円 = 50,000円

■助成対象

- 1 福島県外の大学、高校、中学校等の部・サークル等の皆さんが、県内の文化施設又はスポーツ施設等を利用し合宿をすること。
 - 2 福島県内の宿泊施設に連続して2泊以上宿泊し、かつ、延べ宿泊者数が100人泊以上であること。ただし、平成26年12月1日以降に開始する合宿については、30人泊以上であること。
 - 3 本県の合宿の魅力について短い動画を制作し、インターネットを通じて配信すること。
- ※ 1～3の全ての要件を満たす必要があります。

■助成対象外

- 1 単に大会や、イベント、会議等への参加を目的とする場合。
- 2 大学等が自ら所有する宿舍、キャンプ場、ログハウス、バンガロー、貸別荘、コテージ、自炊型宿泊施設、青少年交流の家等に宿泊する場合。
- 3 同一年度内において既に本助成を受けている場合。
- 4 政治的活動又は宗教的活動若しくは営利を目的とする場合。
- 5 公序良俗に反する場合。

■申請に必要な書類

- 1 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書(様式第1号)
- 2 合宿計画書(様式第2号)
- 3 合宿参加者名簿(様式第3号)
- 4 その他、協会が必要と認める書類

※ 合宿を開始する日の14日前までに提出してください。

■合宿実施中にお願いしたいこと

- 1 本県での合宿の魅力についての動画を撮影。(合宿後5分～10分程度の動画に編集する。)
- 2 集合写真、合宿活動写真等の撮影。
- 3 チェックアウトの際、宿泊証明書(様式第9号)に証明(記入・押印)をしてもらう。
- 4 観光助成加算金を申請した団体は、県内観光施設から領収証書をもらう。

■合宿実施後にご提出いただく書類

- 1 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書(様式第5号)
 - 2 請求書(様式第6号)
 - 3 通帳の写し ※ 預金種別、口座番号、口座名義等の記載がある面をコピーしてください。
 - 4 受領委任状(様式第7号) ※ 「団体の名称・代表者氏名」と異なる「口座名義」に振り込みを希望する場合は、受領委任状を添付してください
 - 5 合宿実績書(様式第8号) ※ 動画のURLを記載ください。
 - 6 宿泊証明書(様式第9号) ※ 宿泊施設から証明(記入・押印)を受ける。
 - 7 合宿アンケート ※ 参加者の中から代表1名。
 - 8 合宿感想文 ※ 参加者の中から代表1名、200字～400字程度。
 - 9 合宿写真 ※ 集合写真及び練習中等の写真数枚
 - 10 公開動画を保存したDVD
 - 11 その他必要と認める書類 ※ 観光助成加算金を申請した団体は、県内観光施設発行の領収証書(写)
- ※ 合宿が終了した日から14日以内に提出してください。

■Q&Aについて

Q 申請書等は、どこで入手するの？ また、記入例はありますか？

A 福島県教育旅行HPの「お知らせ」欄の2014-10-01 8:30の記事からダウンロードをしてください。
URL「<http://www.tif.ne.jp/kyoiku/info/dispatch.html?id=268>」を入力して直接ジャンプして頂いても結構です。

Q 申請書を郵送する前にファックスをし、内容を確認してもらうことは可能ですか？

A 可能です。当協会観光部教育旅行推進課(担当齋藤宛)にファックスをしてください。(FAX 024-525-4087)

Q 高校の野球部ですが、旅館と民宿に分かれて宿泊するのですが助成の対象になりますか？

A 同一団体が、複数の宿に分かれて宿泊する場合でも、助成の対象になります。

Q 大学のテニス部ですが、合宿に同行する監督やコーチは、助成の対象になりますか？

A 合宿に同行する指導者やスタッフも助成の対象となります。ただし、保護者が見学で同行する場合などは助成の対象外となります。

Q 予算の範囲内で助成するとは、どういうことですか？

A 申請は先着順で受付し、予算が無くなると助成が打ち切りとなります。助成終了は、福島県教育旅行HPでお知らせします。

Q 宿は決まっていますが、予算が無くなる前に電話で助成金を確保して頂くことは可能ですか？

A 電話による助成金確保はできません。宿を予約し合宿計画書を作成して申請してください。

Q 29人泊ですが、助成の対象になりますか？

A 助成の対象になりません。30人泊以上です。 ※ 11月30日以前に開始する合宿については、100人泊以上であること。

Q 合宿参加者が、日によって変わるが名簿はどのように記入したら良いですか？

A 1日でも参加する学生の名前を全て記入してください。

Q 大学が所有する宿舎に宿泊する場合は、助成の対象になりますか？

A 大学等が自ら所有する宿舎を利用する場合は、助成の対象になりません。

Q 公営の自然の家で合宿を実施しますが、助成の対象になりますか？

A 該当になりません。国立磐梯青少年交流の家、国立那須甲子少年自然の家等の公営施設を利用する場合は、助成の対象になりません。

Q 観光助成の領収書は、旅行会社のクーポンを使った場合、どのようにしたら良いですか？

A 観光施設の領収書をもらってください。

Q 地域の中学生で組織しているサッカークラブチームは助成の対象になりますか？

A 助成の対象になりません。大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校及び中学校において組織する部、クラブ、サークル、ゼミナール等が実施する合宿が助成の対象となります。

Q 観光助成加算金は、どのような場合が対象ですか？

A 合宿期間中に観光を目的に県内観光施設で入館料等を支払った場合、1人当たり1,000円を上限にその実費を助成します。飲食やバスの駐車場料等は助成の対象外です。

例えば、高校の団体30名が、会津若松市の鶴ヶ城天守閣(320円)、猪苗代町の野口英世記念館(300円)、いわき市のアクアマリンふくしま(650円)に入館料を支払った場合、1人当たり1,270円となりますので、上限である1,000円の助成となり、合計30,000円の助成が受けられます。

Q 観光は必ずしなければなりませんか？

A 必須ではありませんが、合宿期間中、観光を目的に県内観光施設の利用等を行った場合、入館料等の実費を1人1,000円まで助成いたしますので、この機会に是非福島県の観光をお楽しみください。

Q 学年行事として1学年全員でスキー教室を実施しますが、助成の対象になりますか？

A 該当になりません。修学旅行、林間学校、学年オリエンテーション等は、助成の対象になりません。

Q 大学生(成人)で部長をしていますが、申請書の団体代表者になって良いですか？

A 良いです。部、クラブ、サークル、ゼミナール等の代表者が申請者になります。

Q 申請後、延べ宿泊者数が変わった場合、どうすれば良いですか？

A 平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業変更(中止)承認申請書(第4号)を提出してください。ただし、助成金交付申請額を変更しない軽微な変更については提出不要です。

Q 助成金の振込先は、旅行会社や宿泊先ではダメですか？

A 不可です。助成金の振込先は、申請された団体の代表者になります。

Q この助成制度のほかに、市町村等が実施する助成金を併用しても良いですか？

A 本助成制度は併用可です。ただし、市町村等が実施する助成制度が併用不可であれば、どちらかを選択してください。

Q 何校かの学校が合同で野球合宿をした場合は対象になりますか？

A 同じ日程及び目的で合宿をする場合に限り対象となります。なお、合宿先での練習試合は合宿とみなし助成の対象となりますが、大会参加が目的の場合は対象外となります。

Q 合宿団体の所在地から宿泊施設までの距離は、どのように計測しますか？寄り道した場合は？

A グーグルマップで計測します。寄り道した場合でも合宿団体の所在地から宿泊施設までの距離となります。

Q 合宿の短い動画を制作し、インターネットを通じて配信するというのは、どのようなことをするのですか？

A 合宿の動画をデジカメやスマホ等で撮影して頂き、5分~10分程度にまとめたものを学校ホームページ、YouTube等で配信(公開)してください。観光助成加算金を申請した団体は、観光の動画も含めてください。既に本事業で公開してある動画などを参考にしてください。

Q 動画は、どのようなものを撮影すれば良いですか？

A 例えば、磐梯山や猪苗代湖などの美しく豊かな自然、夏涼しい環境、スポーツ・文化施設、練習風景、宿泊施設、おいしい食事、疲れが癒やされる温泉、観光施設、道路網が整備され渋滞も無くスムーズに到着できる点、学生の感想など、福島県の合宿環境の素晴らしさを撮影してください。

Q 動画に顔を写さなくても大丈夫ですか？

A 被写体となる方の承諾をいただけない場合には顔は写さなくて結構です。個人が認識できないくらい離れて撮影して頂いても差し支えありません。

Q 動画に学校の名前は必ず出さないとダメですか？

A 基本的には、学校の名前、部名は出して頂きたいのですが、特段の事情がある場合は出さなくても大丈夫です。事前にご相談ください。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 福島県観光物産交流協会

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号 コラッセふくしま7階
TEL 024-525-4024 FAX 024-525-4087 E-mail tabiiku@tif.ne.jp
事務担当：齋藤、岩淵、野崎

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、本県に文化・スポーツ合宿を誘致することにより、東日本大震災及び原発事故による風評被害払拭や、交流人口の拡大及び本県の合宿環境のPRを図るため、県内施設を利用して合宿を行う県外の団体に予算の範囲内で交付する福島県合宿誘致・交流促進事業助成金に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に定める用語の意義は、それぞれ各号に定めるところによるものとする。

- (1) 大学等 学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校及び中学校
- (2) 団体 学校等の学生又は生徒及び監督、コーチ等の指導者を含む複数の者で構成する部、クラブ、サークル、ゼミナール等
- (3) 宿泊施設 ホテル、旅館、民宿等の宿泊料金の支払いを要する施設(大学等が自ら所有する宿舍、キャンプ場、ログハウス、バンガロー、貸別荘、コテージ、自炊型宿泊施設、青少年交流の家等を除く。)
- (4) 合宿 県外の大学等の団体が県内の宿泊施設に宿泊してスポーツ活動や文化活動等の練習を行うもの

(交付の対象となる合宿)

第3条 助成金の交付の対象となる合宿は、次の各号の要件を全て満たしたものとする。

- (1) 県外の大学等の団体が合宿により県内の宿泊施設に連続して2泊以上宿泊し、かつ、延べ宿泊者数が100人泊以上であること。ただし、平成26年12月1日以降に開始する合宿については、30人泊以上であること。
- (2) 県内の文化施設又はスポーツ施設等を利用すること。
- (3) 本県での合宿の魅力について短い動画を制作し、インターネットを通じて配信すること。
- (4) 各種大会、会議等への参加を目的とするものでないこと。
- (5) 政治的活動、宗教的活動若しくは営利を目的とするものでないこと。
- (6) 公序良俗に反しないものであること。

(助成金額)

第4条 助成金額は、別表に定める助成金に助成加算金を加えた額とする。

(交付申請)

第5条 助成金の交付を受けようとする者は、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて、合宿開始の14日前までに公益財団法人福島県観光物産交流協会(以下「協会」という。)に提出しなければならない。なお、協会は申請書等を先着順に受け付けるものとする。

- (1) 合宿計画書（様式第2号）
- (2) 合宿参加者名簿（様式第3号）
- (3) その他必要と認める書類

（変更の承認の申請）

第6条 事業内容に変更が生じ、その承認を受けようとする場合は、福島県合宿誘致・交流促進事業変更（中止）承認申請書（様式第4号）を協会に提出し、承認を受けなければならない。ただし、次条に規定する軽微な変更については、この限りでない。

（軽微な変更）

第7条 前条のただし書の規定による軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- (1) 事業主体を変更すること。
- (2) 助成金交付申請額を変更すること。
- (3) 第3条の各号のいずれかに該当しなくなることを。

（実績報告）

第8条 助成金の交付の決定を受けた者は、当該事業が完了したときは、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書（様式第5号）及び請求書（様式第6号）に、次に掲げる書類を添えて、合宿終了後の14日以内又は当該年度の3月31日のいずれか早い日までに提出するものとする。

- (1) 合宿実績書（様式第8号）
- (2) 宿泊証明書（様式第9号）
- (3) その他必要と認める書類

（助成金の支払）

第9条 協会は、実績報告を精査した結果、交付要件を満たすと認められるときには、請求書の提出を受けた日から起算して30日以内に助成金を支払うものとする。

（助成金の返還）

第10条 協会は、助成金の交付を受けた団体が交付申請書又は実績報告書等に虚偽の記載をしたときは、助成金の決定を取り消し、既に交付した助成金の全部又は一部を返還させることができるものとする。

（その他）

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は理事長が定める。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月1日から施行する。

別表

1 助成金の交付額

助成金の交付額は、「(1) 交通助成金」と「(2) 宿泊助成金」を加算した額とする。ただし、助成金の上限は20万円とする。

(1) 交通助成金

合宿団体の所在地から 宿泊施設までの片道距離	助成金
100km未満	20,000円
100km以上 200km未満	30,000円
200km以上 300km未満	40,000円
300km以上	50,000円

※ 片道距離の計測方法については、協会の定めによる。

(2) 宿泊助成金

延べ宿泊者数に1泊当たり1,000円を乗じて得た金額。

2 観光助成加算金の交付額

合宿期間中、観光を目的に県内観光施設の利用等を行った場合の入館料等の実費を観光助成加算金として交付する。ただし、合宿参加実人数に1,000円を乗じた金額又は10万円のいずれか低い額とする。

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金の様式及び記入例

1 様式等

(1) 申請時に提出する書類（合宿開始の14日前まで）

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書 (様式第1号)
- イ 合宿計画書 (様式第2号)
- ウ 合宿参加者名簿 (様式第3号)

(2) 合宿計画を変更した場合に提出する書類

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業変更（中止）承認申請書 (様式第4号)

(3) 合宿終了後（14日以内）に提出する書類等

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書 (様式第5号)
- イ 請求書 (様式第6号)
- ウ 通帳の写し
- エ 受領委任状 (様式第7号)
- オ 合宿実績書 (様式第8号)
- カ 宿泊証明書 (様式第9号)
- キ 合宿アンケート（代表者1名）
- ク 合宿感想文（代表者1名、200字～400字程度）
- ケ 合宿写真（集合写真及び練習中等のカラーL判写真3枚以上）
- コ 公開動画を保存したDVD
- サ 観光助成加算金を申請した団体は、県内観光施設発行の領収証書（写）

2 記入例

(1) 申請時に提出する書類

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書 (様式第1号)
- イ 合宿計画書 (様式第2号)
- ウ 合宿参加者名簿 (様式第3号)

(2) 合宿計画を変更した場合に提出する書類

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業変更（中止）承認申請書 (様式第4号)

(3) 合宿終了後に提出する書類

- ア 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書 (様式第5号)
- イ 請求書 (様式第6号)
- ウ 受領委任状 (様式第7号)
- エ 合宿実績書 (様式第8号)
- オ 宿泊証明書 (様式第9号)
- カ 合宿写真

様式第1号

平成 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

所在地

団体の名称

代表者氏名

印

電話番号

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書

このことについて、福島県で合宿を実施したいので、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第5条に基づき、助成金を交付されるよう関係書類を添付して申請します。

記

1 助成金交付申請額 円

2 関係書類

- (1) 合宿計画書 (様式第2号)
- (2) 合宿参加者名簿 (様式第3号)
- (3) その他

担当者氏名	担当者連絡先	担当者メールアドレス

合 宿 計 画 書

団 体 の 名 称	
実 施 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで
実 施 会 場	
宿 泊 施 設	
参 加 実 人 数	人
延 べ 宿 泊 者 数	人泊
観 光 実 施 計 画	(観光施設等名) (支出予定金額) 円
合宿の目的	
合宿の日程・内容	

合 宿 参 加 者 名 簿

No.	氏 名	役職・学年	No.	氏 名	役職・学年
1			16		
2			17		
3			18		
4			19		
5			20		
6			21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		

※30名を越える場合は、この用紙をコピーして利用ください。

平成 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤節夫様

所在地

団体の名称

代表者氏名

印

電話番号

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業変更（中止）承認申請書

このことについて、実施計画を下記のとおり変更（中止）したいので、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第6条に基づき、承認して下さるよう申請します。

記

1 変更（中止）の理由

2 変更（中止）の内容

3 助成金交付申請額

（変更前） 円

（変更後） 円

※変更した内容が具体的に分かるように、変更した合宿計画書、合宿参加者名簿等を添付すること。

平成 年 月 日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤節夫様

所在地

団体の名称

代表者氏名

印

電話番号

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書

このことについて、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第8条に基づき、関係書類を添付して実績を報告します。

記

1 助成金交付決定額 円

2 関係書類

(1) 合宿実績書 (様式第7号)

(2) 宿泊証明書 (様式第8号)

(3) その他

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

所在地

団体の名称

代表者氏名

電話番号

印

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付請求書

福島県合宿誘致・交流促進事業助成金について、金 円を交付して下さるよう請求します。

金融機関		銀行・信用金庫 信用組合・農協		本店 支店
預金種目	普通 ・ 当座 ・ その他 ()			
口座番号				
フリガナ				
口座名義				

※ 通帳（預金種別、口座番号、口座名義等の記載がある面）のコピーを添付してください。

※ 上記の「団体の名称・代表者氏名」と異なる「口座名義」に振り込みを希望する場合は、受領委任状を添付してください。

受 領 委 任 状

私は平成26年度福島県教育旅行合宿誘致・交流促進事業助成金の受領に関する権限を、下記の者に委任します。

記

委任者 住 所 _____

団体名 _____

氏 名 _____ (印)

平成 年 月 日

受任者 住 所 _____

団体名 _____

氏 名 _____

合 宿 実 績 書

団体の名称	
実施期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで
実施会場	
宿泊施設	
参加実人数	人
延べ宿泊者数	人泊
観光実績	(観光施設等名) (支出金額) 円 ※ 領収書の写しを添付
合宿動画URL	
合宿の目的	
合宿の日程・内容	

宿 泊 証 明 書

団 体 の 名 称	
宿 泊 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで
延べ宿泊者数	人泊

上記のとおり宿泊があったことを証明します。

平成 年 月 日

所 在 地

宿泊施設名称

代 表 者 職

代 表 者 氏 名

印

合 宿 感 想 文

この度は、本県で合宿を実施していただき誠にありがとうございました。合宿終了後、合宿の感想を200字～400字程度にまとめて、実績報告書と一緒に御提出ください。

団 体 の 名 称	
記入者（代表者）	

感想文

--

合 宿 写 真

様式第1号【記入例】

平成26年7月1日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

手書きの場合は、**黒色ボールペン**で記入（鉛筆やフリクションペン不可）

所在地 ○○都○○区○丁目○番○号

団体の名称 ○○○○大学○○○○部

代表者氏名 **部長 福島 太郎** 印

電話番号 ○○-○○○○-○○○○

部・サークル等名を必ず記入

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付申請書

このことについて、福島県で合宿を実施したいので、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第5条に基づき、助成金を交付されるよう関係書類を添付して申請します。

記

1 助成金交付申請額 **280,000円**

2 関係書類

- (1) 合宿計画書（様式第2号）
- (2) 合宿参加者名簿（様式第3号）
- (3) その他

担当者氏名	担当者連絡先	担当者メールアドレス
磐梯 太郎	090-1234-5678	bandai@abc.ne.jp

合 宿 参 加 者 名 簿

No.	氏 名	役職・学年	No.	氏 名	役職・学年
1	〇〇 〇〇	部長 3年	16	〇〇 〇〇	1年
2	〇〇 〇〇	副部長 3年	17	〇〇 〇〇	〃
3	〇〇 〇〇	合宿担当者 3年	18	〇〇 〇〇	〃
4	〇〇 〇〇	3年	19	〇〇 〇〇	〃
5	〇〇 〇〇	〃	20	〇〇 〇〇	〃
6	〇〇 〇〇	〃	21	〇〇 〇〇	マネージャー 3年
7	〇〇 〇〇	〃	22	〇〇 〇〇	マネージャー 2年
8	〇〇 〇〇	〃	23	〇〇 〇〇	マネージャー 1年
9	〇〇 〇〇	〃	24	〇〇 〇〇	引率教員
10	〇〇 〇〇	〃	25	〇〇 〇〇	〃
11	〇〇 〇〇	2年	26	〇〇 〇〇	〃
12	〇〇 〇〇	〃	27	〇〇 〇〇	監督
13	〇〇 〇〇	〃	28	〇〇 〇〇	顧問
14	〇〇 〇〇	〃	29	〇〇 〇〇	コーチ
15	〇〇 〇〇	〃	30	〇〇 〇〇	アシスタント コーチ

※30名を越える場合は、この用紙をコピーして利用ください。

平成26年10月27日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

所在地 **〇〇都〇〇区〇丁目〇番〇号**

団体の名称 **〇〇〇〇大学〇〇〇〇部**

代表者氏名 **部長 福島 太郎** 印

電話番号 **〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇**

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業変更（中止）承認申請書

このことについて、実施計画を下記のとおり変更（中止）したいので、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第6条に基づき、承認して下さるよう申請します。

記

1 変更（中止）の理由

延べ宿泊者数減に伴う助成金の減額（又は）延べ宿泊者数増に伴う助成金の増額

2 変更（中止）の内容

（変更前）延べ宿泊者数200人（50人×4泊）

（変更後）延べ宿泊者数198人（48人×4泊、2人×3泊）

3 助成金交付申請額

（変更前）280,000円

（変更後）278,000円

※変更した内容が具体的に分かるように、変更した合宿計画書、合宿参加者名簿等を添付すること。

平成26年11月10日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

所在地 **〇〇都〇〇区〇丁目〇番〇号**
団体の名称 **〇〇〇〇大学〇〇〇〇部**
代表者氏名 **部長 福島 太郎** 印
電話番号 **〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇**

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金実績報告書

このことについて、福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付要綱第8条に基づき、関係書類を添付して実績を報告します。

記

- 1 助成金交付決定額 **278,000円**
- 2 関係書類
 - (1) 合宿実績書 (様式第7号)
 - (2) 宿泊証明書 (様式第8号)
 - (3) その他

平成26年11月10日

公益財団法人福島県観光物産交流協会
理事長 佐藤 節夫 様

所在地 **〇〇都〇〇区〇丁目〇番〇号**
 団体の名称 **〇〇〇〇大学〇〇〇〇部**
 代表者氏名 **部長 福島 太郎** 印
 電話番号 **〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇**

平成26年度福島県合宿誘致・交流促進事業助成金交付請求書
 福島県合宿誘致・交流促進事業助成金について、金**278,000**円を交付して下さるよう請求します。

金融機関	〇〇	銀行・信用金庫 信用組合・農協	〇〇	本店 支店			
預金種目	普通 ・ 当座 ・ その他 ()						
口座番号	1	2	3	4	5	6	7
フリガナ	マルマルダイガク マルマルブ ブチョウ フクシマ タロウ						
口座名義	〇〇〇〇大学〇〇〇〇部 部長 福島 太郎						

- ※ 通帳（預金種別、口座番号、口座名義等の記載がある面）のコピーを添付してください。
- ※ 上記の「団体の名称・代表者氏名」と異なる「口座名義」に振り込みを希望する場合は、受領委任状を添付してください。

受 領 委 任 状

私は平成26年度福島県教育旅行合宿誘致・交流促進事業助成金の受領に関する権限を、下記の者に委任します。

記

委任者=申請者

住所 〇〇都〇〇区〇丁目〇番〇号

団体名 〇〇〇〇大学〇〇〇〇部

氏名 部長 福島 太郎 印

平成26年11月10日

助成金を受領する方

個人口座の場合は、個人の住所

住所 〇〇都〇〇区〇丁目〇番〇号

団体名 〇〇〇〇大学〇〇〇〇部

氏名 会計 磐梯 太郎

個人口座の場合は、団体名は記入しない。

個人口座の場合は、役職は記入しない。

合 宿 実 績 書

団体の名称	〇〇〇〇大学〇〇〇〇部
実施期間	平成26年11月1日～平成26年11月5日まで
実施会場	〇〇市〇〇運動場
宿泊施設	〇〇ホテル
参加実人数	50人
延べ宿泊者数	198人泊 (48人×4泊、2人×3泊)
観光実績	(観光施設等名) 鶴ヶ城天守閣、野口英世記念館、アクアマリンふくしま (支出金額) 40,000円 ※領収書の写しを添付
合宿動画URL	https://www.youtube.com/〇〇〇

全員同じ泊数でない場合は、内訳を記入する。

合宿の目的

充実した合宿環境で集中的に練習することにより技術力の向上を図る。また、同じ宿舎及び日程で集団生活を行うことにより、相互理解や団結力を育む。

合宿の日程・内容

- 11/1 〇〇大学出発 → 〇〇ホテル到着
- (午後) 基礎練習 (実施場所) 〇〇運動場
- 11/2 (午前) 基礎練習 (午後) 打撃練習 (実施場所) 〇〇運動場
- 11/3 (午前) 守備練習 (午後) 紅白戦 (実施場所) 〇〇運動場
- 11/4 (午前) 総合練習 (午後) 福島大学との練習試合 (実施場所) 〇〇運動場
- 11/5 〇〇ホテル出発 → 鶴ヶ城天守閣 → 野口英世記念館 → アクアマリンふくしま
〇〇〇〇大学到着

宿 泊 証 明 書

団 体 の 名 称	〇〇〇〇大学〇〇〇〇部
宿 泊 期 間	平成 26 年 11 月 1 日 ~ 平成 26 年 11 月 5 まで
延 べ 宿 泊 者 数	198 人泊

上記のとおり宿泊があったことを証明します。

平成**26**年**11**月**5**日

所 在 地 **福島県〇〇市〇〇〇番地**

宿泊施設名称 **〇〇ホテル**

代 表 者 職 **代表取締役社長**

代 表 者 氏 名 **〇〇 〇〇 印**

合 宿 写 真

集合写真

集合写真及び練習中等のカラー写真を数枚貼ってください。

写真枚数：3枚以上

※複数の部活動の合同合宿の場合は、
それぞれの部の集合等写真

大きさ：L判（127 mm×89 mm）

色：カラー（白黒不可）

その他：観光助成加算金を申請した団体は、観光
の写真も含めてください。

練習中

〇〇大学と
の練習試合